

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使 用する言語	担当形態			
医学のための化学②	選択 必修	1	1	後期	水・2	日本語		単独			
【担当教員】 下田恵											
【科目名の英文】 Chemistry for Medicine ②											
【授業の概要・到達目標】 医師あるいは医学研究者になる人材を育成するための基礎教育を最大のねらいとする。医学におけるデータの処理に必要な分析化学について学び、化学平衡について理解する。											
具 体 的 な 到 達 目 標						医学科ディプロマポリシーとの対応					
						1	2	3	4	5	6
1. 与えられた課題に対し、ディスカッションしながら解答に至ることができる。							○				
2. 口頭試問を通して科学的な証拠の積み重ねに基づく、論理的な議論の展開を理解して回答することができる。								○			
各 DP への関連度（計 10）							5	5			
【授業の内容】											
回数	授業内容										
1	分析化学を学ぶ意義										
2	正確と精度										
3	誤差の伝達										
4	有効数字										
5	データの棄却										
6	酸・塩基										
7	化学平衡										
8	中和と緩衝作用										
9	酸化										
10	還元										
11	電池と pH 測定										
【アクティブラーニングの内容】 LTD（Learning Through Discussion）					【その他の工夫】 講義の中で確認小テストを出題し、各学生が周囲の者とディスカッションしながら正解に至る時間を設ける。						
【時間外学修の内容と時間の目安】											
準備学修	授業時間までにテキスト該当ページの予習（15h）。										
事後学修	講義ノートの復習（15h）。										
想定時間合計	30										
【教科書】 教科書の指定なし。											
【参考書】 参考書を指定しない											
【成績評価方法及び評価の割合】 成績評価の方法： 期末試験(80%)、小テスト(20%)											
【注意事項】 出席回数が 2 / 3 以上でなければ、期末試験を受けられません。											
【備 考】											

リンク			
	URL		
教員の実務経験の有無	無		
教員の実務経験			
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無		
教員以外の指導に関わる実務経験者			
実務経験をいかした教育内容			
授業形態	オンライン		